

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)		採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	ト長調		5
	2	弱起	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	5
	3	♩ = 70	順序は問わない。 内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	各 5 × 3
		andante		
		gehend		
	4	リズムを変えた。	内容を正しくとらえていれば、表現は異なってもよい。	10
	5	ア	声部Aと全く同じフレーズで、主旋律を追いかけるように動いている。	問いを正しくとらえていれば、内容は異なってもよい。
イ		どんな困難もあきらめずに乗り越えていこうという思いが込められている。	5	
ウ		困難を乗り越える力強さを出すために、アクセントを付けて、2つの旋律の重なりが感じられるように歌う。	10	
6	※ 別紙 (計1枚)			30

85

高等学校芸術科（音楽）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 (例)	採 点 上 の 注 意	配 点
2	<p>題材名（雅楽の特徴を感じ取り，日本の伝統文化に親しもう）</p> <p>時間</p> <p>学習活動</p> <p>第1時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 管絃「五常楽急」を鑑賞し，知覚した音色，旋律，テクスチャの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。 <ul style="list-style-type: none"> ・管絃「五常楽急」を聴き，曲想や音楽的な特徴について気付いたことを自由に話し合う。 ・雅楽の歴史や概要について，事前に調べてきた内容を共有する。 ・冒頭部分について，箏の音色に着目して聴いたり，箏の唱歌を歌ってみたりして，感じ取った旋律の特徴をワークシートに記入し，発表し合う。 ・CDの演奏に合わせて，打ちもの（鉦鼓，鞆鼓，釣太鼓）を演奏するまねをしながら聴き，拍の表れ方を感じ取る。 ・旋律やテクスチャによる楽曲の面白さを味わいながら，楽曲全体を通して聴く。 	<p>題材名は，問いを正しくとらえていれば，内容は異なっていてよい。</p> <p>学習活動は，問いを正しくとらえていれば，内容は異なっていてよい。</p>	65
	<p>第2時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雅楽（管絃）と諸外国の伝統音楽（ガムラン等）を比較しながら鑑賞し，それぞれの音楽のよさについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を用いて，諸外国の伝統音楽（合奏）について調べる。 ・自分が選んだ諸外国の合奏を視聴し，管絃との共通点や相違点についてワークシートに整理する。 ・4人グループを作り，各自が整理した特徴について，グループで紹介し合う。 ・諸外国の合奏と管絃との共通点や相違点について話し合い，管絃の特徴やよさを味わいながら，管絃「五常楽急」を通して聴く。 		
	<p>第3時間目</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を振り返りながら雅楽についての紹介文を書き，よさや美しさを創造的に味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ・前時までのワークシートを基に学習を振り返りながら，管絃「五常楽急」を通して鑑賞する。 ・舞楽「陵王」を鑑賞し，管絃「五常楽急」との共通点や相違点について話し合う。 ・管絃「五常楽急」の紹介文を書く。 ・紹介文の内容を基に意見交換し，改めて管絃「五常楽急」を鑑賞する。 		
3	<p>リコーダーの独奏と，アンサンブルとを比較して，それぞれの趣が異なることを感じ取らせる。</p>	<p>問いを正しくとらえていれば，内容は異なっていてよい。</p>	各10 ×2 20
	<p>リコーダー三重奏のように同じ種類の楽器の組合せだけでなく，ギターと鍵盤楽器，あるいは，和楽器と西洋の楽器のように異なる種類の楽器の組合せなどを工夫して演奏を行わせることで，リコーダー三重奏のよさや持ち味を感じ取らせ，表現を工夫させる。</p>		
4	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素などの働きについて実感を伴いながら理解し，表現や鑑賞などに生かすことができるようにすること。 ・音楽に関する歴史や文化的意義を，表現や鑑賞の活動を通して，自己との関わりの中で理解できるようにすること。 	<p>1つ書かれていればよい。</p> <p>問いを正しくとらえていれば，内容は異なっていてよい。</p>	10 10 10 30
	<p>2</p> <p>一定の手順や段階を追って身に付けることができるようにするのみでなく，変化する状況や課題などに応じて主体的に活用できる技能として身に付けることができるようにすること。</p>		
	<p>3</p> <p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くこと。</p>		

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。